



オンラインで結ぶ日英公開シンポジウム 2022

「現在進行形の新興感染症 COVID-19」

～試される国際社会の連携～

(日本で、世界で何が起きているか、日英豪フィリピンの専門家による生の声を届けます)

オンライン記者説明会のご案内

※3月6日開催の公開シンポジウムの事前説明会です。

◆事前説明会のポイント

3月6日に開催される日英公開シンポジウム(日本医学ジャーナリスト協会西日本支部共催)を前に、オミクロン株の出現で、各国の対策の違いが顕著になってきていることから、ジャーナリストとのさらなる対話を求め、記者の多々ある疑問点にお答えする目的で、日英公開シンポジウム事前説明会及び質疑応答をオンラインで実施いたします。

◆日時・出席者(今回はシンポジウムではなく、事前説明会となります)

日時: 令和4年1月28日(金) 14:30~15:30

所要時間1時間(発表20分、質疑応答40分)

出席者: 長崎大学大学院熱帯医学・グローバルヘルス研究科

副研究科長/教授 有吉紅也

日本医学ジャーナリスト協会理事・西日本支部長 藤野博史(司会)

開催方法: 記者発表はZoom配信で行います。次のeメールまたは

二次元バーコードで申し込みいただいたアドレスに

ZoomURLをお知らせします。 Email:contact@iscgh2022.jp



◆シンポジウムの概要

新型コロナは今なお、我々の社会・生活に大きな影響を及ぼし、オミクロン株の登場とともに新たなステージへ向かおうとしています。英国政府の感染症対策立案に深くかかわってきた感染症疫学専門家ジョン・エドモンズ教授と日本の新型コロナウイルス対策のキーマンである東北大学大学院押谷仁教授がこれまで蓄積した知見とこれからの課題・展望、そして日本、世界で何が起きているのか検証する基調講演を行います。

ラウンド・テーブル・ディスカッションでは、日英2人の座長を中心にWHOの視点、日本や英国、東南アジアの事例を報告し、国際社会が抱える課題を論じるとともに、パンデミックの中で新たに浮き彫りとなった疑問に積極的に答えてゆきたいと思えます。

◆本件に関する問い合わせ先

長崎大学生命医科学域・研究所等支援課

卓越大学院シンポジウム担当

〒852-8523

長崎市坂本1丁目12番4号 グローバルヘルス総合研究棟

TEL: 095-819-7583

Email:contact@iscgh2022.jp

オンラインで結ぶ **日英** 公開シンポジウム2022

現在進行形の新興感染症COVID-19 ～試される国際社会の連携～

日時 2022年 **3月6日(日)** 17:00~20:00
(開場:16:30)
=日本時間

発信会場 長崎大学大学院熱帯医学・グローバルヘルス研究科
(オンライン配信=定員先着500名)

長崎大学卓越大学院プログラム



英語使用(同時通訳付き)



基調講演

日本で、世界で 何が起きているか 検証する

オミクロン株が登場し、変異を続ける新型コロナ。パンデミックの勃発から2年を経て、今なお社会、生活に影響を及ぼし続け、国際社会の対応の多様性を浮き彫りにしています。諸国の経験から何を学び、どのように連携してゆくべきか。課題と展望を論じます。

ロンドン大学衛生・熱帯医学
大学院教授
英国緊急時科学諮問員
ジョン・エドモンズ

東北大学大学院
医学系研究科微生物学分野教授
新型コロナウイルス感染症対策分科会委員
押谷 仁

WHOの視点

講演

日本の公衆衛生

フィリピンの病院から報告

座長



メルボルン大学教授
WHO新型コロナワクチン
諮問委員
キム・マルホランド



京都大学大学院
社会健康医学系専攻長
医療経済学分野教授
今中 雄一



フィリピン国立感染症
専門病院・
サンラザロ病院医師
リア・サヨ



ロンドン大学
衛生・熱帯医学大学院
教授
シュンメイ・ユン



長崎大学大学院
熱帯医学・グローバル
ヘルス研究科教授
有吉 紅也



【主催者挨拶】
長崎大学学長
河野 茂



【閉会挨拶】
長崎大学大学院
熱帯医学・グローバル
ヘルス研究科長
北 潔



【司会】
NBCラジオ「チャージ」
パーソナリティー
斉藤絹子

最後にラウンド・テーブル・ディスカッション開催

3月7日に分科会開催

お申込み ▶ <https://iscgh2022.jp/>

お問合せ ▶ 長崎大学卓越大学院プログラム運営事務局
contact@iscgh2022.jp

お申し込み ▶



参加無料

- 後援/駐日英国大使館(予定)
一般社団法人日本熱帯医学会(予定)
- 協賛/シオノギ製薬(予定)
シスメックス株式会社(予定)